



平成 27 年度

秋田県21世紀土地改良区創造運動事例集

水士里ネットの ふれあい

秋田県21世紀土地改良区創造運動推進本部
(水士里ネット秋田)



21世紀土地改良区創造運動とは？

平成13年にはじまった21世紀土地改良区創造運動は、全国各地で多様な取り組みが展開されており、「水土里ネット」の愛称の普及にも貢献しています。この運動は、「水土里ネットから地域へ」発信する外部運動であり、水土里ネット関係者の意欲の向上と意識改革を進め、県民に向けて水土里ネットの活動をPRする機会となっています。

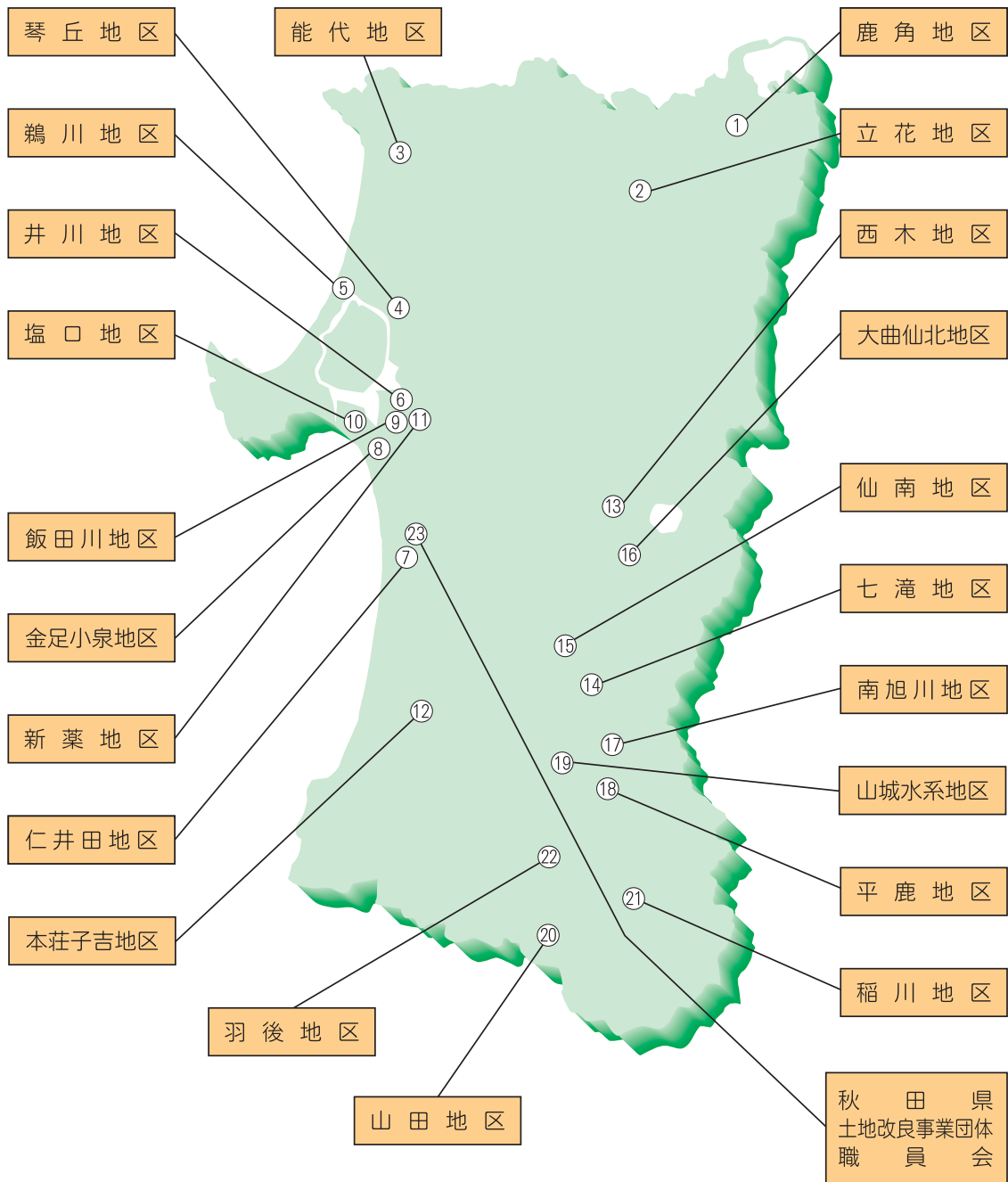
平成27年度 21世紀土地改良区創造運動 活動状況

○運動実施地区

No.	地区名	実施主体	活動・イベント内容	参加者(名)
①	鹿角	水土里ネット鹿角支部	末広小学校田んぼアート、施設見学会	48
②	立花	水土里ネット大館	ネギ植え体験	22
③	能代	水土里ネット能代地区	農業水利施設の見学、施設内の植栽、清掃活動	107
④	鶴川	水土里ネットみたね	豊穰の里ウォーキング兼施設見学会	63
⑤	琴丘	水土里ネット琴丘	農業施設見学会	35
⑥	井川	水土里ネット井川	学習田農業体験活動	120
⑦	仁井田	水土里ネット仁井田堰	水土里の野菜倶楽部	40
⑧	金足小泉	水土里ネット新城川	小泉潟クリーンアップ	293
⑨	飯田川	水土里ネット飯田川	学習田農業体験活動、収穫感謝祭	260
⑩	塩口	水土里ネット天王	水路のクリーンアップ（塩口自治分館）	82
⑪	新薬	水土里ネット昭和	イワナの稚魚放流	30
⑫	本荘子吉	水土里ネット子吉	古代米の田植・稲刈り、ふるさと環境教室	117
⑬	西木	水土里ネット西木	きらきら発見！施設見学会	30
⑭	七滝	水土里ネット七滝	水環境学習会、出前授業	117
⑮	仙南	水土里ネット仙南	田んぼの水は、どこからくるんだろう？	50
⑯	仙北	水土里ネット大曲仙北支部職員会	第4回水土里のみちウォーキング in 抱返り溪谷	74
⑰	南旭川	水土里ネット南旭川	地域と歩んだ…141年目の思い出アートに挑戦	90
⑱	平鹿	水土里ネット雄物川筋	皆瀬1号幹線用水路植栽活動	70
⑲	山城水系	水土里ネット平鹿支部職員会	2015語り部交流会 in あきた	300
⑳	山田	水土里ネット山田五ヶ村	地域住民一体となった維持管理コンテスト	34
㉑	稲川	水土里ネット稲川	農作業体験・標語コンクール・施設見学会・出前授業	952
㉒	羽後	水土里ネットうご	水土里と森のふれあい学校、わくわく探訪、女性の会	76
㉓	全域	秋田県土地改良事業団体職員会	旬野菜・花卉展示プロジェクト	200
	計	23 地区		3210

表紙写真（上）水土里ネットみたね「豊穰の里ウォーキング」
（下）水土里ネット南旭川「黒川小田んぼアート」

平成27年度活動地区位置図



秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

地区名	水土里ネット名	賞	所在地
雄勝	水土里ネット山田五ヶ村	県知事賞	湯沢市
秋田	水土里ネット新城川	県奨励賞	秋田市
由利	水土里ネット由利本荘市	県奨励賞	由利本荘市

① 鹿角 【水土里ネット鹿角支部】

根本由紀子

末広小学校「田んぼアート」及び水利施設について出前授業

末広小学校の児童が創立140周年記念ということで、古代米を使って田んぼアートに挑戦。田植え前日には、ハートマークに「末広140」の文字が浮き出るよう、デザインに杭打ちをし下準備をしました。当日は全校児童20人とその家族、地域農家の方々と力を合わせアートを完成させました。

田植え後は順調にアートが色づいていく状況を記録し、8月中旬には見頃を迎え、9月下旬に稲刈を行った。高学年は鎌を持ち刈り取り、低学年は刈り取りした稲を学校プールのフェンスにはさがけて作業終了。

全校児童20人と少ない学校ですが、一つのことを協力して作業ができる子供達で感心しました。今後も、これから地域を担う子供達に向け農業農村の役割について理解を深めてもらえるような活動を継続していきたいです。



内容	末広小学校全校児童と田んぼアートに挑戦	
期間	5月25日～9月29日	
場所	末広小学校、隣接学校田	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	末広小学校創立140周年記念事業「田んぼアート」制作のお手伝いと、同校4年生に地域の水利施設について出前授業を行いました。	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 	<p>17%/20%</p> <p>13%/20%</p> <p>19%/20%</p> <p>12%/20%</p> <p>20%/20%</p>
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	地域の限られた人の参加となっている。今後幅広く活動していけるよう取り組みたい	

② 立花 【水土里ネット大館】

石田誠孝

児童による農業体験学習

今年で12年目を向かえ、毎年恒例となった農業体験学習も、農事組合法人立花ファーム、立花農地保全隊の協力のもと、川口小学校3年生20名、先生2名が参加され、立花ファームで育てたネギ植え作業を体験しました。

最初にネギ苗の植え方について教わったあと、児童それぞれが一斉に手植え作業を体験。終了後、児童からネギの収穫時期や匂、大きさ、種類と言った質問が出されるなど、熱心に質問する姿が印象的でした。農家の方達からはまた来年も会えるのが楽しみとの声も聞かれました。



内容	小学生によるネギ植え	
期間	6月、10月	
場所	大館市立花字立花 地内	
活動普及対象	小学校児童	
アピールポイント	体験学習を通じて地域の自然や人々との関わりを感じることができました。	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 	<p>18%/20%</p> <p>17%/20%</p> <p>17%/20%</p> <p>12%/20%</p> <p>17%/20%</p>
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	水利施設の役割、水土里ネットの仕事のアピール不足	

③ 能代 【水土里ネット能代地区】

武田佳晃

水土里の実践活動

幅広い世代を対象にした活動を継続的に行えており、大学生や幼稚園児等の若い世代を対象にもしており将来に繋がる活動ができたと思う。



内容	基幹的水利施設の視察研修会、植栽、清掃活動											
期間	7月～11月											
場所	大野分水工、落合幹線排水路 ほか											
活動普及対象	地元住民											
アピールポイント	地元の方々との地域奉仕作業をしつつ、水利施設の役割を紹介できています。											
自己評価	<table border="0"> <tr> <td>① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している</td> <td>15% / 20%</td> </tr> <tr> <td>② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している</td> <td>20% / 20%</td> </tr> <tr> <td>③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている</td> <td>15% / 20%</td> </tr> <tr> <td>④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる</td> <td>20% / 20%</td> </tr> <tr> <td>⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価</td> <td>18% / 20%</td> </tr> </table>		① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	15% / 20%	② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	20% / 20%	③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	15% / 20%	④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	20% / 20%	⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	18% / 20%
① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	15% / 20%											
② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	20% / 20%											
③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	15% / 20%											
④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	20% / 20%											
⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	18% / 20%											
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #f4a460; color: white; font-weight: bold;">88%</div>											
	組織の活性化・地域農業の振興・ 地域コミュニティへの貢献 ・地域資源の保全強化											
今後の課題	継続から更なる発展へ											

④ 鶴川 【水土里ネットみたね】

佐々木雅浩

豊穡の里ウォーキング兼施設見学会

体育の日、多くの行事が重なる中、老若男女63名の参加がありました。曇り空のもと、ウォーキングスタート。田んぼを両脇に見ながら歩を進める一行。コースを外れ、田んぼを斜め横断する参加者の姿も見られました。コース途中では排水機場の見学会。普段は目にする事のない内部の様子を見てもらいました。ウォーキング終盤では雨がぽつぽつ、ざあざあ降りました。普段は雨の行き先など気に掛けないでしょうが、今回の活動を通じ今後は雨が降ったら排水機場の存在を思い起こしてくれたらと思います。



内容	ウォーキングと施設見学会											
期間	10月12日											
場所	第九排水機場周辺											
活動普及対象	地元住民											
アピールポイント	施設（排水機場）見学会を主たる目的としつつ、ウォーキングと組み合わせることで田んぼ・水路・農道も体感できる活動となりました。											
自己評価	<table border="0"> <tr> <td>① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している</td> <td>18% / 20%</td> </tr> <tr> <td>② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している</td> <td>17% / 20%</td> </tr> <tr> <td>③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている</td> <td>17% / 20%</td> </tr> <tr> <td>④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる</td> <td>12% / 20%</td> </tr> <tr> <td>⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価</td> <td>17% / 20%</td> </tr> </table>		① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	18% / 20%	② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	17% / 20%	③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	17% / 20%	④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	12% / 20%	⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	17% / 20%
① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	18% / 20%											
② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	17% / 20%											
③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	17% / 20%											
④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	12% / 20%											
⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	17% / 20%											
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; background-color: #008080; color: white; font-weight: bold;">81%</div>											
	組織の活性化・地域農業の振興・ 地域コミュニティへの貢献 ・地域資源の保全強化											
今後の課題	地域住民の参加を増やし、施設の存在・役割の周知を図る											

5 琴丘 【水土里ネット琴丘】

牧野一

農業水利施設の見学会

琴丘小学校児童33名に対して、水土里ネットの仕事と水利施設の役割を説明した後、現地見学会を行いました。子供たちは初めて見る施設に驚き、その仕組みや操作方法を興味深そうに見聞きしていました。この体験により、水土里ネットの存在と農業水利施設の役目を少しでも理解してくれればと思っています。



内容	琴丘小学校5年生を対象に農業水利施設の見学会を実施	
期間	7月2日	
場所	琴丘土地改良区管理のダム、ため池、ポンプ	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	子供たちに普段は見ることができない施設内部を見てもらい、仕組みを知ってもらいました。	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 15%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 16%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 16%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 18%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 15%/20% 	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化
今後の課題	より深い理解へ	

6 井川 【水土里ネット井川】

小林秀昭

学習田農業体験活動

今年も小学校学習田において、農業委員や農家の方々の指導により「田植え・稲刈り」が行われました。泥んこになりながら苗を植え、稲になるまでの成長を観察し、鎌での刈取りや「はさがけ」など、お米作りの大変さと収穫の喜びを体験しました。この農業体験活動を契機に農業への関心が高まり、そこから土地改良施設の役割を伝えていければと思います。



内容	井川小学校5年生による「田植え・稲刈り」	
期間	5月21日（田植え）、10月1日（稲刈り）	
場所	井川小学校学習田	
活動普及対象	児童（小学5年生）	
アピールポイント	農作業の大変さを体験するとともに、自然とふれあう楽しさ、収穫による喜びをかみしめる活動になった。	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 15%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 15%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 10%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20% 	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化
今後の課題	どのように役割の大切さを伝えていくか	

7 仁井田 【水土里ネット仁井田堰】

伊藤清栄

水土里の野菜倶楽部

水土里ネット秋田事業調整センターと協力して「水土里の野菜倶楽部」を仁井田に開設しました。地域の皆様から栽培などの指導をしていただき、大住小学校やおおぞらこども園の児童たちとジャガイモやさつまいもに加え、「伝統野菜」である「仁井田大根」の育成に取り組みました。今年は300本の大根が取れ、みんなでお漬け物にして食べました。来年度も継続して頑張っていきたいです。



内容	伝統野菜「仁井田大根」の復活	
期間	5月～2月	
場所	仁井田地区にある耕作放棄地	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	幼稚園や小学生と地域のお年寄りの交流の場づくり	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 20%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 10%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 20%/20%	75%
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	地域農家が栽培を引き継いでくれるか	

8 金足小泉 【水土里ネット新城川】

安養寺文隆

小泉潟クリーンアップ

今年で4回目をむかえた『小泉潟クリーンアップ』が6月28日午前6時より金足振興会、追分町内連合会、県立博物館、小泉潟公園事務所の、協力により開催致しました。昨年この事業を、継続していくため地域の代表者で『小泉潟をキレイにする会』を発足させて初めてのクリーンアップでありましたが、関係者162名、学校生徒131名、合計293名の参加を募り、クリーンアップをとおして、土地改良への理解や農業用施設の大切さ、地域との連帯感を伝えることができ、盛会裡に終了することができました。『継続は力なり』今後も続けて行きたいと思います。



内容	地域の小、中、高生及び地域住民一体となったクリーンアップ	
期間	6月28日	
場所	秋田市金足小泉潟公園	
活動普及対象	地元住民、小・中・高校生	
アピールポイント	地域の大人だけでなく、地元の小中高校生を巻き込んだ活動	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 20%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 20%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 20%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20%	90%
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	クリーンアップだけでなく、もう一步踏み込んだ活動ができるよう検討	

9 飯田川 【水土里ネット飯田川】

川上 文樹

学習田農業体験活動

飯田川小学校5年生による農作業体験に、老人クラブ・JAあきた湖東と一緒に参加しました。稲刈り時には、子供たちが一人づつバケツで栽培したお米を、おにぎりにして食べました。自分が種もみから育てたお米の味は、一生忘れられない味だったと思います。収穫感謝祭では、各学年での農作業体験等を発表し、感謝状をいただきました。昼食には、婦人会と5年生が作った「だまこ鍋」を全校生徒と一緒に美味しくご馳走になりました。子供たちが、農作業の楽しさや収穫の喜びを感じることで、農業の大切さが伝わったと思います。



内容	飯田川小学校の農作業体験、収穫感謝祭に参加しました	
期間	5月11日、9月29日、11月27日	
場所	飯田川小学校学習田、体育館・食堂	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	子供たちと地域のふれあい、収穫の喜びと農業の大切さ	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 	<p>5% / 20%</p> <p>10% / 20%</p> <p>15% / 20%</p> <p>5% / 20%</p> <p>15% / 20%</p>
	組織の活性化・地域農業の振興・ 地域コミュニティへの貢献 ・地域資源の保全強化	
今後の課題	環境学習とのむすびつけ	

10 塩口 【水土里ネット天王】

桜庭 秀見

生活に密着した綺麗な水路

昔から「せせらぎ水路」とはほど遠い「赤水っこ」と言われてきた水路で、高い鉄分土壌のため染み出した成分が酸性化して水が赤く濁っている。昔は生活水としても使われていたが白い衣服を洗濯すれば赤く染るけれども気にしない時代だった。そのため浄化水道がいち早く設備されたので、近年は必要性が薄れゴミの放置、ポイ捨てが増えてきていたが集落が一丸となってコミュニケーションを取りつつクリーンアップを行う事で昔のエピソードを思いだしながら美化を推進する。平成17年度より10年間活動してきたので定着してきた。



内容	年一回の集落総出のクリーンアップ	
期間	6月7日	
場所	潟上市天王字塩口に隣接する承水路	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	集落に隣接する水路の小さい頃から親しんだ「赤水」水路	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 	<p>15% / 20%</p> <p>13% / 20%</p> <p>13% / 20%</p> <p>12% / 20%</p> <p>18% / 20%</p>
	組織の活性化・地域農業の振興・ 地域コミュニティへの貢献 ・地域資源の保全強化	
今後の課題	10年継続しているが、若干参加数が減ってきているので新しい活動の企画	

11 新薬 【水土里ネット昭和】

奈良 崇史

イワナの稚魚の放流

上虻川ホテルの郷が中心となり、資源保全活動の一環として毎年地元保育園児を招待し、川の浅瀬に入っの放流会を行いました。地域のおじいさんおばあさんが見守るなか川に降りた園児たちは、活動組織のおじさん達から稚魚の入ったバケツをもらおうと、ゆっくりと大事に放流し、稚魚でいっぱいとなった川を見て興奮しながら話す姿が可愛らしかったです。この川では昔、数多くのイワナがいたと地域住民の方々から聞き、組織の活動が地域資源の保全と住民や園児たちとの繋がりができる良い機会となりました。その一環にお手伝いでき、微笑ましくも充実した活動となりました。



内容	潟上市東保育園の園児達と川にイワナの稚魚を放流しました	
期間	6月22日	
場所	新薬町内の川の浅瀬	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	地元の保全活動組織「上虻川ホテルの郷」が毎年実施している活動のお手伝いをしてきました	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 10%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 10%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 10%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20%	50%
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化 お手伝いではなく、改良区側から計画・実施するような体制をつくる	

12 本荘子吉 【水土里ネット子吉】

渡辺 聡

ふるさと環境教室

毎年同じルートで施設を廻っていますが、今年は途中で風車の建設現場があり（改良区施設とは関係ありませんが）、生徒・先生は横たわっている風車の羽の長さに驚いており、今年の生徒しか見られない風景だったと思われまます。



内容	子吉の水源・ふるさとの自然環境を学習	
期間	5月25日	
場所	子吉の水源を訪ねる	
活動普及対象	子吉小学校5年生	
アピールポイント	改良区施設の役割を知る機会となっている。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 20%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 10%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 10%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 20%/20%	80%
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化 学校行事として収まっているため、どのように広がりを持たせられるのか工夫が必要	

13 西木 【水土里ネット西木】

千葉伸子

きらきら発見！施設見学会

今年で9回目を迎えた施設見学会ですが、川をゴミで汚してはいけないという事が子供たちによって家庭で話題になっているようで、川のゴミが少なくなっているように感じられます。毎年同じ活動ですが、対象の子供たちが変わるのでいつも新たな気持ちで臨んでいます。

市企業局等の協力を得て地域の水の循環を知ることが出来ました。



内容	宮田頭首工、小山寺頭首工、仙北市浄水場の見学	
期間	10月21日	
場所	宮田頭首工、小山寺頭首工、西明寺高区浄水場	
活動普及対象	児童（西明寺小4年生）	
アピールポイント	施設見学会で子どもたちに水土里ネットを理解してもらい、大人・地域住民に理解が広がりつつあります。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	15%／20%
	② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	15%／20%
83%	③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	18%／20%
	④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	20%／20%
	⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	15%／20%
	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化	
今後の課題	この活動をどのように広がりを持たせるか	

14 七滝 【水土里ネット七滝】

藤岡義博

水環境学習会

1回目の活動は、秋田市内の小学校から円型分水工を見学したいとの依頼を受け、見学会及び学習会を実施。こども達は、真っ先に円型分水の水に触れ、水の大切さを改めて感じたのではないかと思います。

2回目の活動では、森の働きを一から勉強したいとの依頼を受け、出前授業を実施。農業や生活に欠かせない水が森でどのように生成されているかを伝えました。この勉強の内容が少しでも家で話題となり、子供から家族へと理解が浸透してもらえればいいと思います。



内容	関田円型分水工の見学会及び学習会、森林の働きの出前授業	
期間	5月28日、7月16日	
場所	関田円型分水工他	
活動普及対象	地元住民、児童（秋田市立外旭川小学校97名、美郷町立千畑小学校20名）	
アピールポイント	水土里のネットの仕事をPRする機会になりました。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している	18%／20%
	② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している	17%／20%
90%	③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている	18%／20%
	④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる	19%／20%
	⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	18%／20%
	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化	
今後の課題	地元住民の参加者を増やす	

15 仙南 【水土里ネット仙南】

木村潤

田んぼの水は、どこからくるんだろう？

平成26年度から水土里ネット南旭川と合同で水たんけん学習会を実施しています。当日は改良区に職場体験に来ていた美郷中のお兄さん方にも手伝っていただき、ダムや頭首工の施設を巡り、子供たちに田んぼの水の正体や水の大切さを分かってもらえたのではないかと思います。

農家の子供も多く、活動を通じて少しでも農業に関心をもってもらい、また、お米のおいしさを感じてもらうことで将来の後継者、自給率の向上につながればと願いながら今後も継続して活動していきたいです。



内容	仙南小学校4年生の子供たちとダムや頭首工などの施設巡り	
期間	9月1日	
場所	金沢ダム、大松川ダム、上堰頭首工など	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	子供たちに水の大切さやお米のおいしさを感じてもらえました。 (この水で育てたお米や野菜をカレーにして食べました。)	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 18%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 16%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 19%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 18%/20% 組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	86%
今後の課題	この活動にとどまらず地域を巻き込んだ更なる活動を検討し実施すること	

16 仙北 【水土里ネット大曲仙北支部職員会】

佐藤靖彦

水土里のみちウォーキング in 「抱返り溪谷」

今年度の参加者は74名と少なめであったが、コースが県立自然公園である抱返り溪谷ということもあり、リピーターも多く参加してくれ今後も継続して開催していきたい。コースは駐車場を集合出発し、疏水百選にも選ばれている田沢疏水の「抱返り頭首工」や仙北平野の「玉川頭首工」の施設を巡り、自然豊かな原生林の中青い溪流と断崖絶壁が織りなす勇壮な溪谷美を堪能し、溪流随一の名称回顧の滝を折り返す、約7キロ・9キロの2コースを設け、ゴール地点では「完歩証」と記念品として「あきたこまち」450gをプレゼントし好評を得ている。また、新日本歩道紀行100選にも選定され今後は具体化される予定であるため秋田県・土地連・各改良区のホームページの協力を得て募集方法を考えもっと広くPRしていきたい。



内容	農業水利施設周辺のウォーキング	
期間	6月15日	
場所	仙北市「抱返り溪谷」	
活動普及対象	一般県民	
アピールポイント	普段何気なく見ている自然の中を、ウォーキングを通じて健康増進を図ると共に、周辺に点在している普段立ち入ることのできない、農業水利施設に親しみ施設の役割や大切さを各土地改良区担当職員から、説明をいただき理解してもらうことを目的に取り組む。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 20%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 20%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20% 組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	85%
今後の課題	新規参加者の獲得	

17 南旭川 【水土里ネット南旭川】

照井元

地域で歩んだ…141年目の思い出アートに挑戦

今年度は来年3月で閉校を迎える横手市黒川小で稲で文字や絵を描く「田んぼ」アートを行い「黒小→北小」の文字を刻みました。運動の規模は大きいものではなかったものの、閉校を間近に控えた児童の皆さんをはじめ、地域の皆様の地元小学校に対する強い思いが感じられた活動となりました。黒川地区は、JAや中学校などの地域の中核施設が次々に合併（移転）となり、大きな建物のみが黒川地区に残っている現状です。今年度で小学校も閉校になりますが、人が集まる場として機能して行って欲しいです。私達が今できることは、地域住民と一体となり、農村保全などを考慮した「集いの場」を色々な事業を導入し最大限に活かすことだと考えております。今まで以上に地域活性化活動である21世紀創造運動を有効に利用し、頑張っていきたいと思っております。



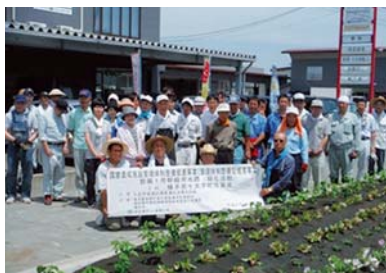
内容	小学校児童と田んぼアートに取り組みました	
期間	6月3日～9月30日	
場所	黒川小学校の学校田	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	今年度で閉校となる黒川小の思い出づくりとして、地域住民と一緒に活動を行いました	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 20%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 20%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらった内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 20%/20%	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化
今後の課題	新たな地域での、新たな活動を計画・実行したい	

18 平鹿 【水土里ネット雄物川筋】

佐藤達也

皆瀬1号幹線用水路植栽活動

植栽活動参加人数が過去最高になり、盛大に行なわれました。地上の花は可憐に咲いてますが、土中では必死に根を張り巡らしているように、当日の植栽活動よりも前の準備活動に多大な労力と関係機関との調整・協力、植栽後の維持管理等、縁の下の力持、黒子の努力に感謝します。来年度は合併を控えており、新しい風が吹いて新生秋田県雄物川筋土地改良区の活動として幅広く、より地域に浸透するよう育てていければと思っております。



内容	ボックス水路の上に植栽する。	
期間	7月4日	
場所	横手市十字町佐賀会字下沖田地内	
活動普及対象	地元住民、その他（国・県・業者）	
アピールポイント	日陰もない炎天下に、汗をかきながらの植栽活動を通じて、行き交う地域住民に、一時のオアシスを提供できればと。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 10%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらった内容も含まれる 10%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 15%/20%	組織の活性化 ・ 地域農業の振興 ・ 地域コミュニティへの貢献 ・ 地域資源の保全強化
今後の課題	単発活動になりがち	

2015語り部交流会 in あきた

350年以上の歴史を持つ「山城堰」が題材として取り上げられた。農業水利施設によって形成された「水のつながり」は、長い歴史の中で地域に根ざし、農業という枠にとらわれない大きな「人のつながり」となっているのだと確認できた。様々な人と意見交流し、農業水利施設のあり方を考え、農村振興や地域活性化につなげていきたい。



内 容	関係者の語りを通して「水のつながり」を継承していくことの大切さを再確認する。	
期 間	1月28日	
場 所	横手市平鹿生涯学習センター	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	語り手に小学校長、酒蔵杜氏を招き、多様な意見を聴くことができた。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 18%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 16%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 19%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 18%/20%	86%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	交流会が長く続くように協力していきたい	

地域住民一体となった維持管理コンテスト

各活動組織の代表が各地区の実施状況を巡回し、項目別に採点しながら実施内容の説明を行いました。各活動組織において、それぞれ工夫した取り組みが見られ、活動組織間の連帯意識の高揚や情報交換の場としてなくてはならないものとなっております。

また、農業用水利施設の重要性や維持管理活動のPRにも努めながら、多面的機能支払交付金制度を通じて大きな効果が生まれつつある、地域住民との交流活動（農家・非農家を巻き込んだ集落環境、生活水の確保等）、更新期を迎える土地改良施設の更なる長寿命化対策の啓蒙にも努めております。

この維持管理コンテストは本年度29回を数え、水土里ネット山田五ヶ村の21世紀土地改良区創造運動の中核を担う活動となっております。今後とも創意工夫に努めながら、水土里ネットの大切な役割を地域住民に伝えていきたいと考えております。



内 容	維持管理実施状況の巡回コンテストを実施しました	
期 間	9月11日	
場 所	水土里ネット山田五ヶ村管内～ニュー千寿苑	
活動普及対象	組合員、地元住民	
アピールポイント	水土里ネット山田五ヶ村管内で展開されている、多面的機能支払交付金活動組織（20の下部活動組織）が実施している農地維持活動、資源向上活動の取り組みについて、毎年度実施している維持管理コンテストと共催で実施しています。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 20%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 15%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 15%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 20%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 15%/20%	85%
	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	活動・運動のマナー化を防ぐことと、地域住民への周知方法	

21 稲川 【水土里ネット稲川】

阿部進

平成27年度「ふるさと水と土」地域住民活動

活動では水土里ネットだけでなく、農業体験では保護者や保全会の方々などにお手伝いしていただいたり、出前授業ではゲストティチャーとして土地改良区の職員のほか、水系の代表の方にも参加していただきより内容に工夫を凝らしながら、活動が出来たのではないかと感じている。

今年残念だったのは計画していた「どろんこ学校 in 東福寺ため池」が開催直前の水害により、中止に追い込まれたのは非常に残念で、期待していた子供たちや地域の方々には非常に申し訳なく思っています。来年度は是非開催できるよう、再度計画をしていきたいと思ひます。



内 容	先人が築き上げてきた農業水利施設を地域の宝ととらえ、施設は地域住民全体の共有財産であり、その意識の高揚を図っていくため、学校教育と連携した活動を展開することにより、児童や親、地域住民等に農地・農業水利施設のもつ多面的機能に関して理解していただくとともに、近年問題になっている農業水利施設へのゴミの投棄について啓発活動を行い、地域環境の保全に努めていく。	
期 間	5月14日～2月29日	
場 所	稲川土地改良区管内	
活動普及対象	組合員、地元住民、学校関係者	
アピールポイント	学校との連携により、児童生徒・先生はもとより、保護者や資源保全会など地域住民はじめ・マスコミ報道、ホームページにより活動内容を発信することができた。また、ゴミの投棄については、啓発看板の作成展示により、地域の方に訴えることができたと思う。	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 16%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 18%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 19%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 19%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 18%/20% 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">90%</div>
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	組合員や地域の方々にもっと理解していただけるような活動を展開する必要がある	

22 羽後 【水土里ネットうご】

佐々木将大

水土里と森のふれあい学校

土地改良区では、農家の仕事が将来にわたって快適に行えるよう、ため池や取水施設・用排水路の更新及び維持管理を主な業務として行っている。

“水”は農業者のみならず地域住民にとっても欠かすことのできない大切な資源であるとともに、洪水や渇水など日常生活に多大な影響をもたらす一因である。

森林や水田の持つ水源涵養機能の大切さと、自然と環境に対する興味を子供たちに共有してもらう機会を作れたことは今後のためにも良い事だと感じた。



内 容	近隣の小学生に対して、学習会及び木工体験を実施し、水と森林・水田との繋がりについての理解を深めるとともに、地域の環境と触れ合う機会を増やすことを目指す。	
期 間	7月21日	
場 所	羽後町立西馬音内小学校	
活動普及対象	地元住民	
アピールポイント	森林と水田のもつ水源涵養機能の重要性と、水土里ネットの役割についての講演を行い、自然と環境に対する興味を子供たちに共有してもらう	
自己評価	<ol style="list-style-type: none"> ① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している 10%/20% ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している 15%/20% ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている 10%/20% ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらう内容も含まれる 15%/20% ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価 10%/20% 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">60%</div>
今後の課題	組織の活性化・地域農業の振興・地域コミュニティへの貢献・地域資源の保全強化	
今後の課題	屋外に出での活動を行う	

平成27年度元気なふるさと秋田づくり活動支援事業

各土地改良区より持ち寄った山野草や花卉を多くの方々に見ていただき、農山村の魅力をアピールできたと思う。

中でも「かゆ餅」に興味を示した方が数多くおり、試食なども行ってPRした。また、観覧者の年齢層も様々でつかしいと言われる方もいれば、初めて見るという方もいて展示に対する反応も上々だった。



内 容	あきた『旬野菜・花卉』展示プロジェクト農の生け花 展旬の野菜・山野草・花卉農家が栽培した花等を展示し、県内外の来場者に自然と共存しながら維持してきた農業・農村の魅力を発信し県内文化の醸成を図る。	
期 間	11月16日	
場 所	秋田市エリアなかいち	
活動普及対象	一般県民	
アピールポイント	組合員に限らない多くの方が訪れる場所での活動なので、県内外も含め組合員以外の多くの人へ土地改良区の存在をアピール出来た。	
自己評価	① 役職員や組合員に運動への理解が浸透している ② 基本理念や目標を立て、関連性を持った運動を実施している ③ 身の丈に合った運動を継続しながら、広がりを持たせる工夫を行っている ④ 水利施設の役割など水土里ネットの仕事を理解してもらおう内容も含まれる ⑤ この活動で最も力を入れた項目について○を付けて評価	10%/20% 10%/20% 10%/20% 10%/20% 15%/20%
今後の課題	今後もこの様な取り組みがあったら参加して行きたい	

秋田支部



稲の
はさがけ開始!!

10月5日



鹿角・北秋田支部

かかしが登場!
あけびや柿、ほ
うき草



10月22日



山本支部



ネギや白菜などの
立派な野菜

飛び入り有り!!

11月6日



平鹿支部

とうみ、箱ぞり、
足踏み脱穀機



11月12日



昭和の農機具大集合!!